

登録コード	A3592437	開講年度	2026						
授業科目	プレゼンテーション演習Ⅱ							担当教員	諸白 家奈子
英文授業名	PresentationⅡ								
単位数	1	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期			対象学生	4年前期（研究室配属学生）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー	非該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】		
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ								
	【2022年度以前カリキュラム対象】専門的な知識や研究能力を修得している					⇔	プレゼンテーションを論理的にすすめることができる。		
	【2022年度以前カリキュラム対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					⇔	聴衆の反応を確認しながら、自身の研究内容に対する質問に論理的に答えることができる。		
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ								
	【2024年度以前カリキュラム対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					⇔	プレゼンテーションを論理的にすすめることができる。		
	【2024年度以前カリキュラム対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					⇔	聴衆の反応を確認しながら、自身の研究内容に対する質問に論理的に答えることができる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他								
(3)全学横断特別教育プログラム									
(4)授業の概要	本授業では、自分の研究計画、その研究に関連する海外の論文紹介、調査や実験から得たデータの報告、まとめについて、MS社のPowerPointを使って、各研究分野のセミナーで発表する。								
(5)授業計画	第1-15回、研究室の他のメンバーのプレゼンテーションの聴講および、自分の担当回で自身の研究テーマに関する文献をスライド等を用いて発表する。また、第15回の最後に授業アンケートを実施する。								
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を薦める。								
(7)成績評価の基準	各自の研究計画および研究報告について、1)背景・目的・方法・結果・考察をそれぞれポイントとなるべき部分を押さえたスライドや補足資料などを作成、2)限られた時間の中で他の参加者が理解しやすいプレゼンテーションの実施、さらに3)的確な質疑応答が求められます。 このI ³ が十分に達成できかつ質疑応答に的確に答えられる：卓越している このI ³ が十分に達成できている：かなり上にある このI ³ が概ね達成できている：やや上にある このI ³ の基本事項が達成できている：水準にある								
(8)事前事後学習の内容	事前学習として自分の発表の準備、特にスライドの作成を行って下さい。また他の参加者の事前資料などを熟読し、不明点や疑問点を明確にしておいて下さい。								
(9)テストやレポートの予定	必要に応じてテストやレポートを求めます。								
(10)成績評価の方法	「(5)成績評価の基準」に挙げた内容に対する取り組みの成果とを総合的に判断し、下記の通りに評価します。 評価基準： S：90-100， A：80-89， B： 70-79， C：60-69， D：59以下								
(11)質問、相談への対応および連絡先	担当教員が随時、質問等に応じる。								
(12)履修上の注意	本科目は受講者に実際にプレゼンテーションと質疑応答を行なってもらうため、12回以上の出席がないと成績評価の対象となりません。								
【教科書】	特になし								
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術- （酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術 （宮野公樹著、化学同人）								